



2025年3月期決算 および中期経営計画 (2023年度～2025年度)

2025年6月10日

兼房株式会社

ホームページ	URL https://www.kanefusa.co.jp
お問い合わせ先	経営管理室長 服部 政信
電話番号	0587-95-2821

目次

1	会社概要	3－9
2	特徴・強み	10－16
3	2025年3月期 決算概要	17－22
4	中期経営計画(2023～25年度)	23－34
5	トピックス	35－37

① 会社概要

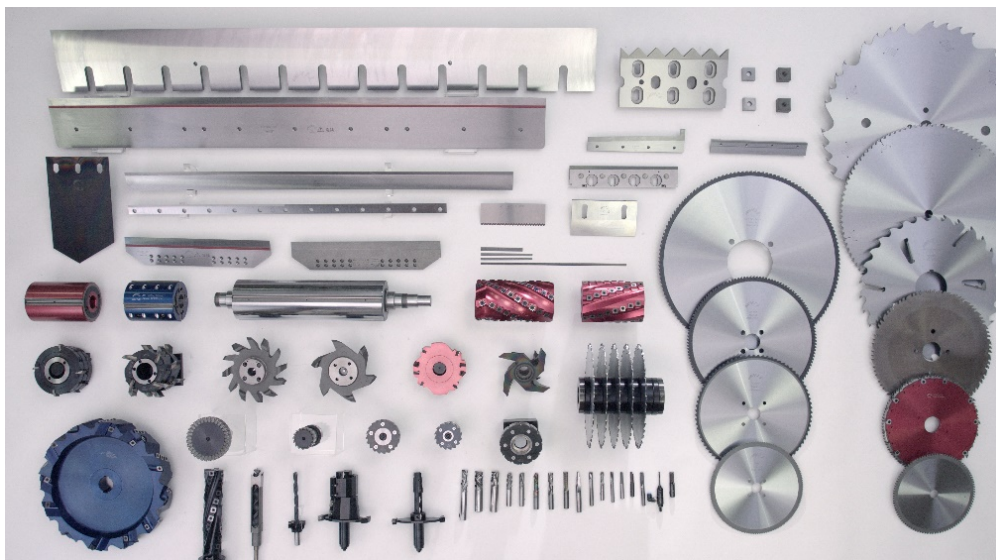
1 会社概要

兼房株式会社

東証スタンダード市場
名証メイン市場

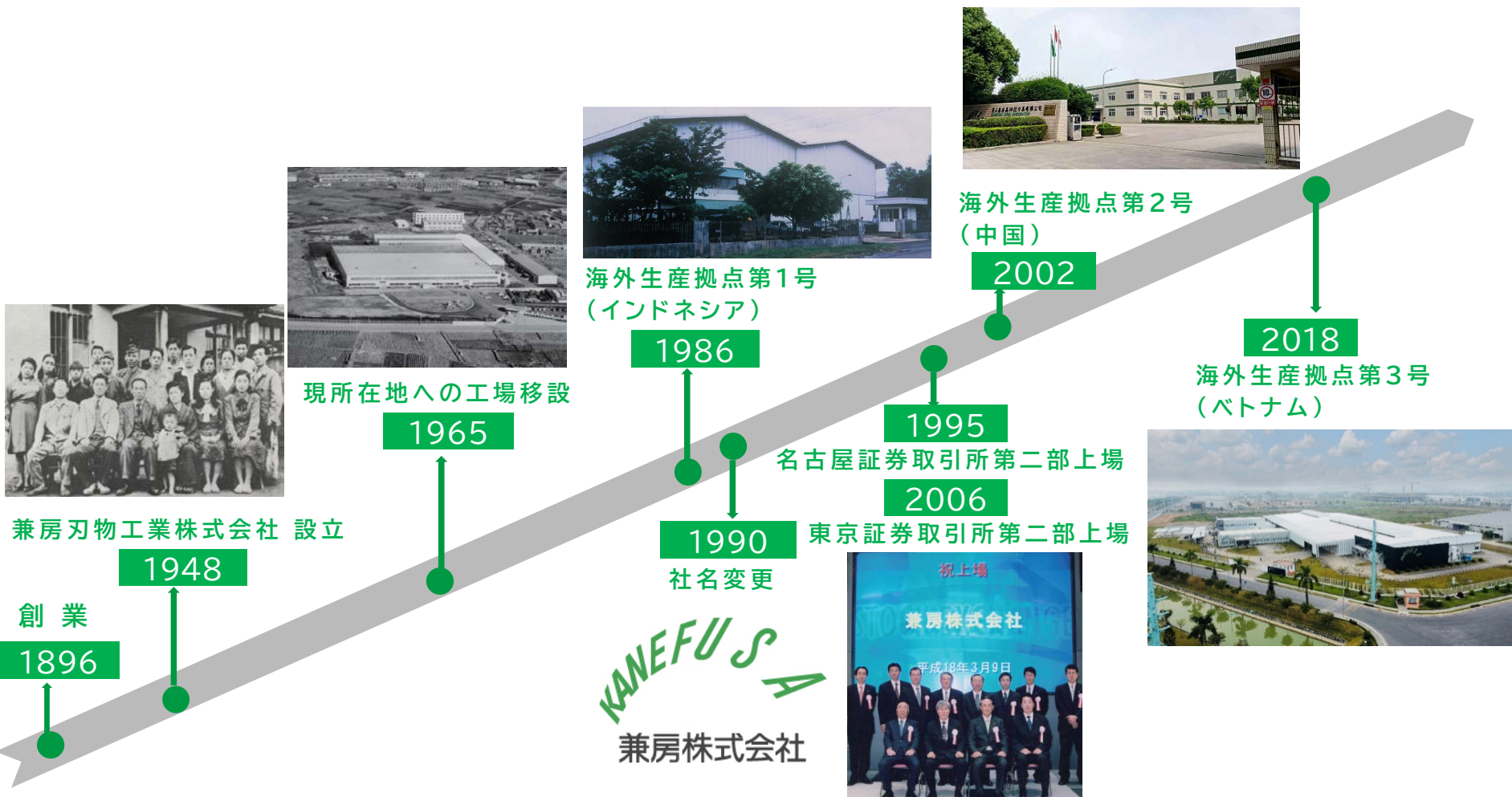
上場 5984

工業用機械刃物
総合メーカー



設 立	1948年11月 《創業1896年(明治29年)》		
所在地	愛知県丹羽郡大口町		
資本金	21億4,250万円		
事業所	本社・工場 国内8販売拠点		
子会社	10社 うち海外子会社9社		
従業員数	正社員 パート 合 計	単 独 608名 97名 705名	連結子会社 559名 108名 667名

1 会社概要－兼房のあゆみ



1 会社概要－事業内容・主要ユーザー

事業内容

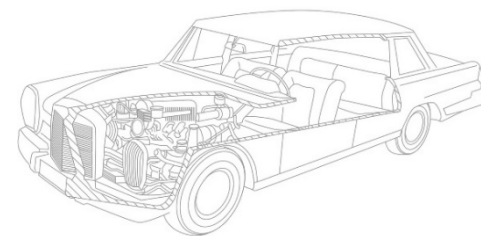
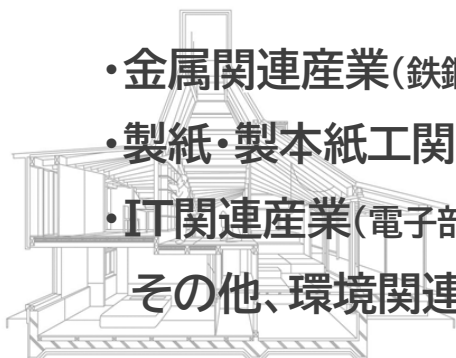
工業用機械刃物の製造・販売

工業用機械刃物は、木材・紙・金属等を切断・加工する機械に装着して使用される
＜消耗工具＞に該当します。

主要ユーザー

- ・住宅関連産業（ハウス、合板、建材、プレカット、外壁材、
電動工具、キッチン、家具等の各メーカー）
- ・金属関連産業（鉄鋼、非鉄、自動車・部品等の各メーカー）
- ・製紙・製本紙工関連産業（製紙等の各メーカー、印刷・製本会社）
- ・IT関連産業（電子部品等の各メーカー）

その他、環境関連、包装機械、合成樹脂加工会社など多業種にわたる。



1 会社概要－主要製品

平刃類

形状が平らになっているもので、合板用刃物、電動工具の電気鉋刃、製本紙工用刃物、IT関連刃物等があります。



住宅関連産業向け
ベニヤナイフ



印刷・製本関連向け
断裁包丁

精密刃具類

溝つき・繋ぎ合わせ・穴あけ加工・成型等をする工具で、カッター・エンドミル・リーマなどと呼ばれます。被削材には木質系、窯業系建材、樹脂、非鉄金属等があります。



金属関連産業向け
フェースミル



住宅関連産業向け
仕口カッター

丸鋸類

円板状で外周部に刃がついており、切断・粉碎をする工具。被削材には木質系等を切断するチップソーや、各種金属を切断するコールドソーがあります。



金属関連産業向け
コールドソー



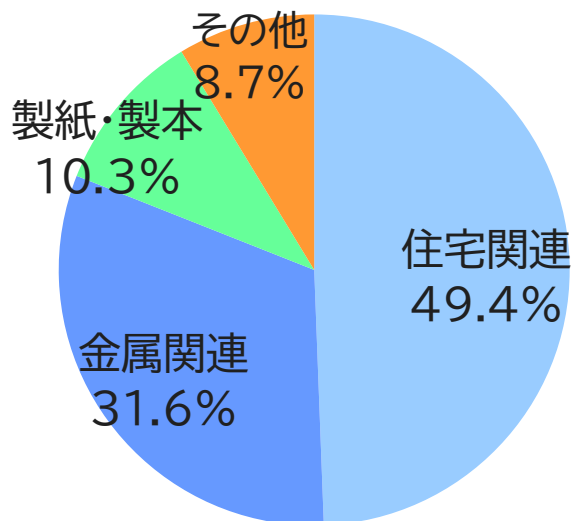
住宅関連産業向け
チップソー

製品数 300種3万点

1 会社概要－売上高構成比

一つの業種、地域に偏らない売上高構成

業 種 別



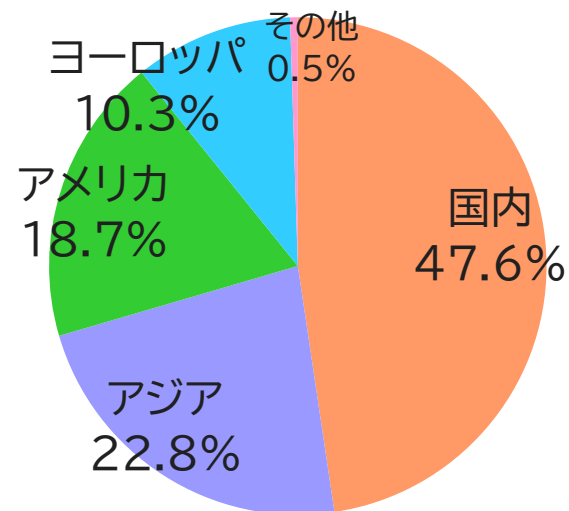
・その他
化成品、IT、環境
関連産業、
包装機械メーカー等

・製紙・製本紙工関連
製紙メーカー、
印刷・製本産業

・住宅関連
ハウス、建材、サッシ、
キッチン、家具、合板、
電動工具メーカー等

・金属関連
鉄鋼、非鉄
自動車関連産業等

地 域 別



・ヨーロッパ
ドイツ、フランス
スウェーデン等

・アメリカ
米国、カナダ、
メキシコ、ブラジル、
チリ等

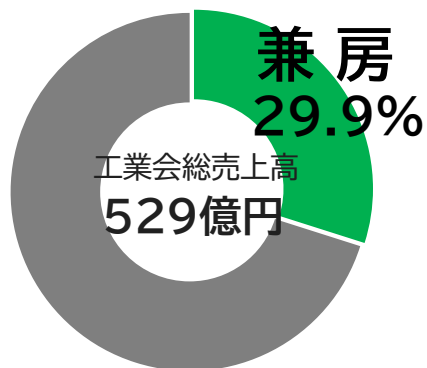
・その他
ニュージーランド、
オーストラリア等

・アジア
インドネシア、
中国、ベトナム、
インド、タイ等

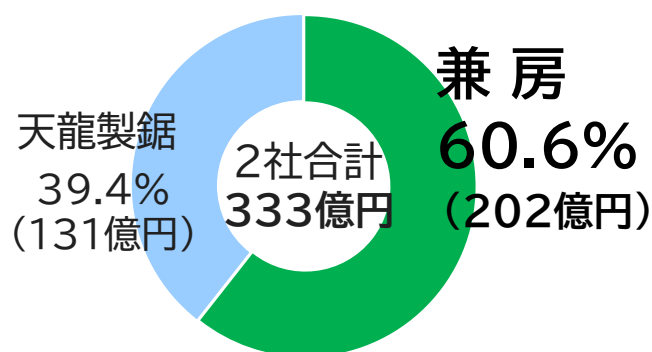
1 会社概要－マーケット規模と当社シェア

国内シェアNo.1

日本機械鋸・刃物工業会22社
単独売上高ベースでのシェア(2024年度)

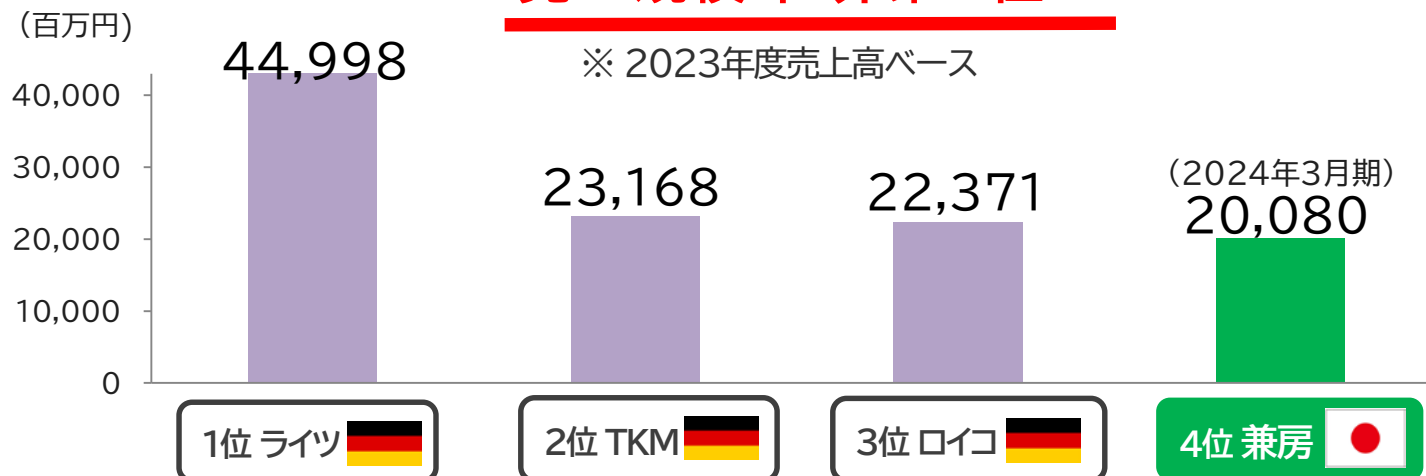


業界株式公開会社2社
連結売上高ベースでのシェア(2024年度)



売上規模 世界第4位

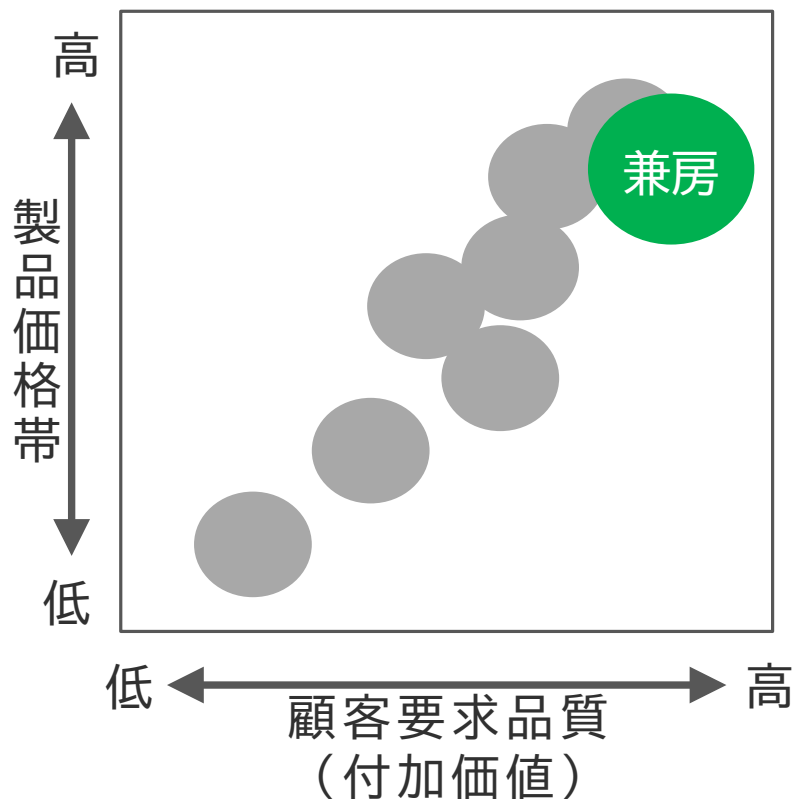
※ 2023年度売上高ベース



② 特徴・強み

② 特徴・強み

高品質なモノづくりを追求される顧客層に
高付加価値製品・サービスを提供



平刃・精密刃具・丸鋸のカテゴリーすべてを製造する
工業用機械刃物のプロ
幅広い市場の切削課題に総合力で対応



2 特徴・強み

世界生産拠点とグローバル販売網

世界8か国11の地域に進出



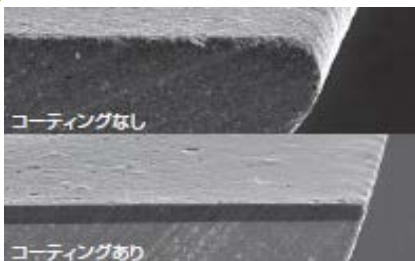
世界中への製品供給のための
生産能力、販売ネットワーク
スケールメリットを活かしたコスト低減

② 特徴・強み

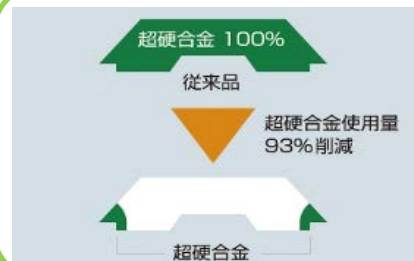
業界屈指の技術力

製品開発基本ポリシー “KANEFUSA For Sustainability”

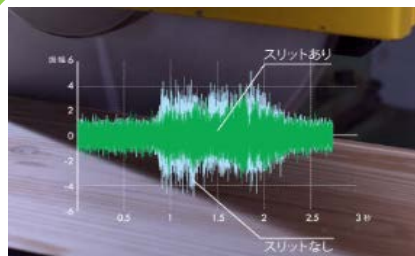
4つのコア技術



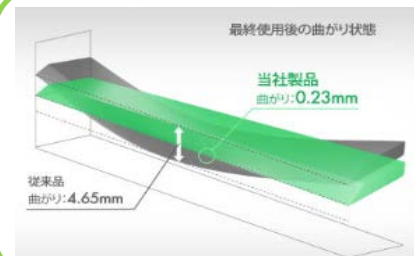
消費電力削減を可能にする
コーティング技術



レアメタル使用量削減
を可能にする微小化技術



作業環境改善・
歩留まり向上を可能にする
振動抑制技術



省エネルギー・
高耐久性を可能にする
刃金接合技術

レーザクラッド技術

レーザー光により異種金属を接合

→台金と刃金の密着強度が高められ、剥離のしやすさ低減

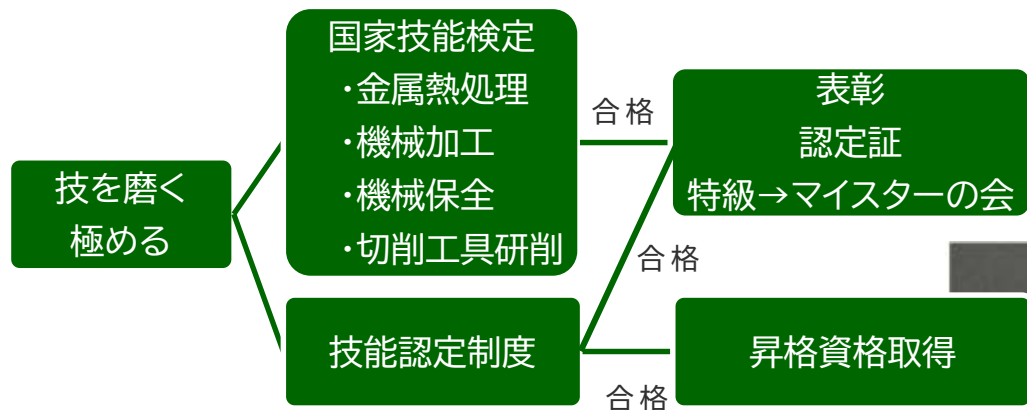
→新たな異種金属接合による製品開発につながる



レーザクラッド角のみ鋌
2023年日本木工機械展
技術賞受賞

② 特徴・強み

業界屈指の技術力



国家技能検定合格者名を
掲示した「匠ボード」



製造設備の自社設計・製作

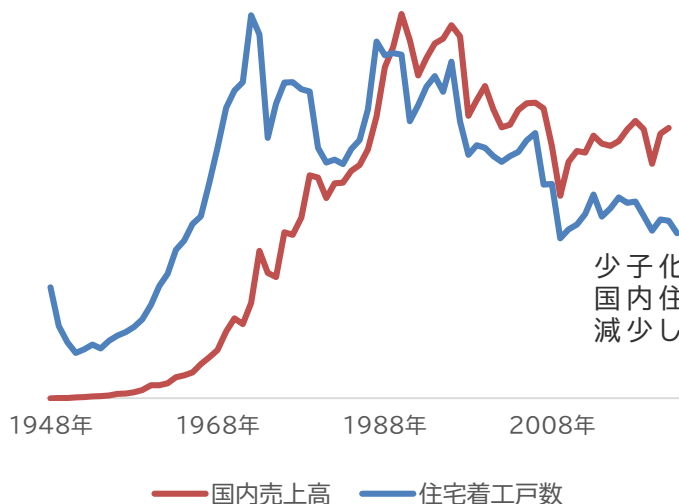


本社 工作工場の様子

② 特徴・強み

市場拡大が期待される木材分野に強み

戦後の住宅需要の高まりの中、
木材加工用刃物で成長
⇒蓄積された知見、高いノウハウ



少子化等の影響で
国内住宅着工戸数は
減少しているが・・・

カーボンニュートラルやSDGs
⇒世界的な
木材関連市場拡大



豊富な木材加工用刃物を
ラインナップ

国内シェア
90%以上!



チップソー



ベニヤナイフ

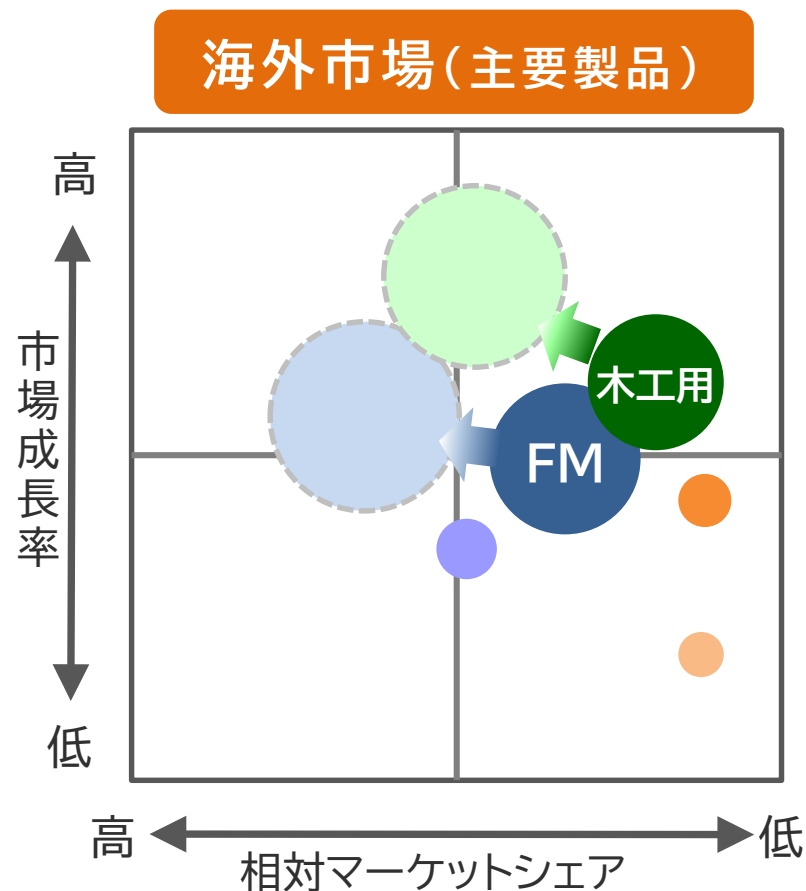
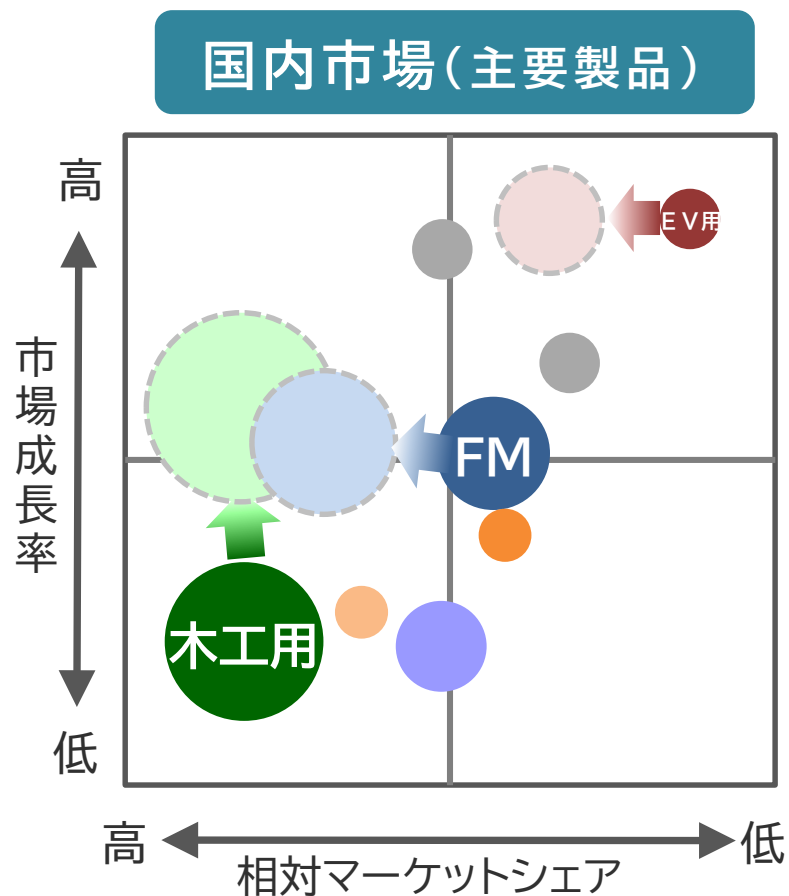


プレカット鋸



フィンガーカッター

② 特徴・強み



国内：高付加価値製品・技術サービスでシェア維持、後発製品群のシェアアップを図る

海外：未開拓の市場がまだまだあり、未投入アイテムも多い。

豊富な製品群を活かし、シェア拡大・ブランド確立を図る。

③ 2025年3月期 決算概要

③ 決算概要－損益計算書

単位:百万円

	24年3月期 実績	25年3月期 実績	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	20,080	20,231	150	0.8%
売上原価 (売上高比率)	14,077 (70.1%)	14,280 (70.6%)	[1] 202	1.4%
売上総利益 (売上高比率)	6,002 (29.9%)	5,950 (29.4%)	▲52	▲0.9%
販管費	4,948	5,203	[2] 254	5.1%
営業利益 (売上高比率)	1,054 (5.3%)	747 (3.7%)	▲306	▲29.1%
営業外収益	483	104	[3] ▲379	▲78.5%
営業外費用	93	144	51	54.9%
経常利益 (売上高比率)	1,444 (7.2%)	707 (3.5%)	▲737	▲51.0%
特別利益	25	957	[4] 932	3724.8%
特別損失	5	12	7	121.5%
税金等調整前 当期純利益	1,463	1,652	188	12.9%
当期純利益 (売上高比率)	886 (4.4%)	984 (4.9%)	98	11.1%

受注減があったが、値上げおよび
為替による押上効果で

売上高 前期比 微増

<前期比増減額の主な内訳>

[1] 売上原価
中国現地法人の構造改革関連費用
+130

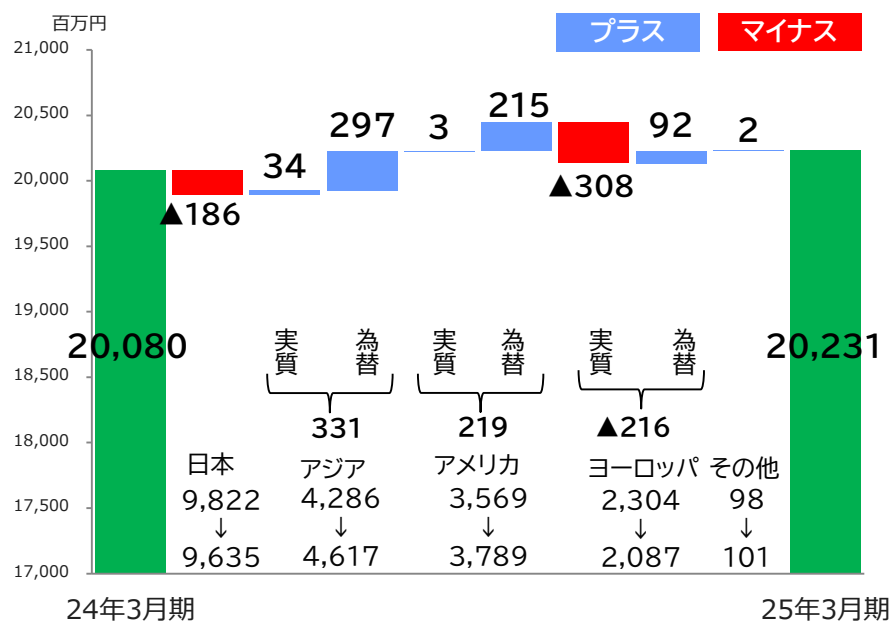
[2] 販管費
人件費 + 82
運送費 + 52
手数料 + 40
租税公課 + 31

[3] 営業外収益
為替差益 ▲408

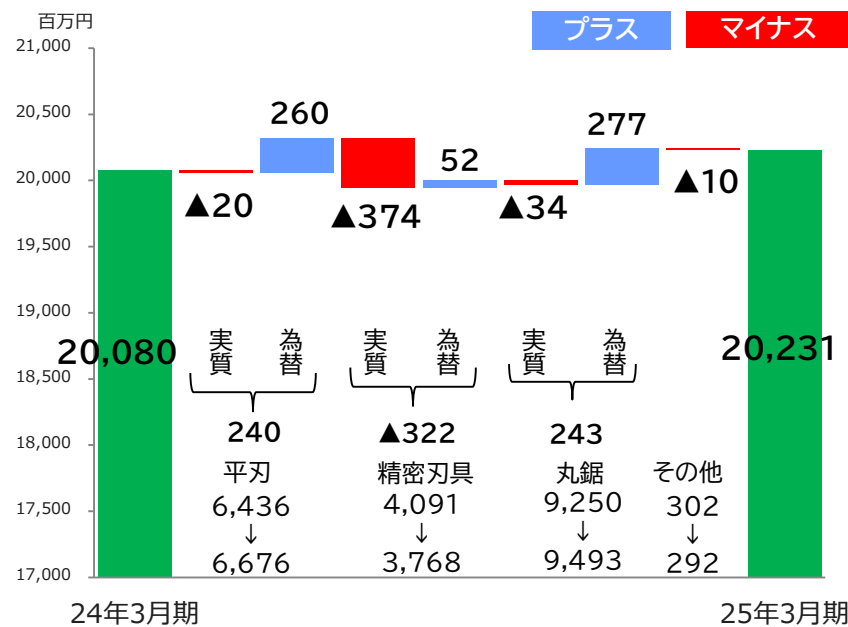
[4] 特別利益
固定資産売却益 + 956

③ 決算概要－売上高の増減要因(前期比)

地域別



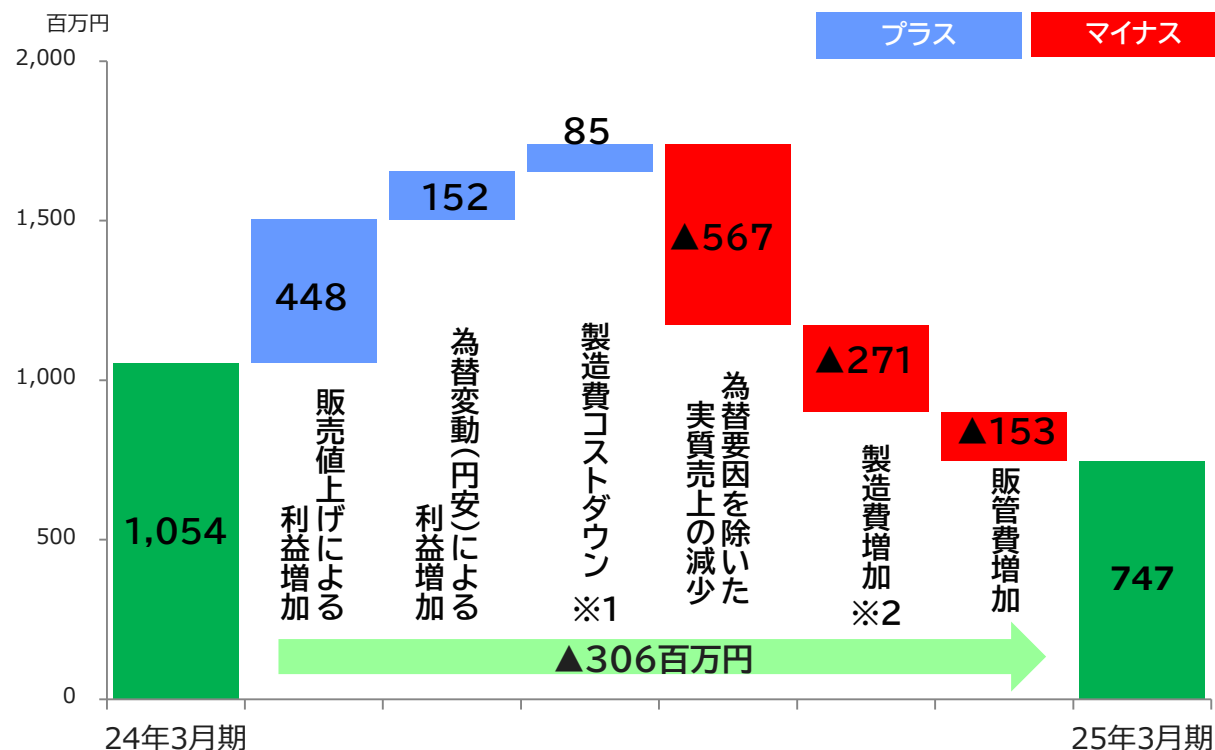
事業別



国内は木材加工用・金属加工用刃物の売上が減少。
 海外は、為替の押し上げ効果により円建てでは増収。
 実質売上の減収幅の大きいヨーロッパは、長引く製造業低迷
 などにより売上減少。
 連結売上高は前年同期比150百万円の増加となった。

[為替影響]
 海外子会社換算適用レート
 24年3月期 25年3月期
 141.83円/\$ ⇒ 158.18円/\$ (円安)
 157.12円/€ ⇒ 164.92円/€ (円安)
 19.93円/元 ⇒ 21.67円/元 (円安)

③ 決算概要－営業利益の増減要因（前期比）



[為替影響]
海外子会社換算適用レート

24年3月期	25年3月期
141.83円/\$	⇒ 158.18円/\$ (円安)
157.12円/€	⇒ 164.92円/€ (円安)
19.93円/元	⇒ 21.67円/元 (円安)

※1 製造費コストダウン 主な内容

国内 電力費 ▲17百万円 工具消耗品 ▲12百万円 修繕費 ▲12百万円
通信・事務用品 ▲12百万円

※2 製造費増加 主な内容

中国子会社構造改革費用(生産人員削減、分公司閉鎖) +130百万円
原材料費高騰 +141百万円

③ 決算概要－貸借対照表

単位:百万円

単位:百万円

		24年3月期 実 績	25年3月期 実 績	増減額			24年3月期 実 績	25年3月期 実 績	増減額	
資産の部	流動資産	現金及び預金	5,542	8,061	2,518	流動負債	支払手形及び買掛金	1,898	1,407	▲491
		受取手形及び売掛金	4,330	3,783	▲547		未払金	961	1,085	123
		たな卸資産	7,739	7,788	49		その他	1,496	1,344	▲152
		その他	642	600	▲41		小計	4,357	3,837	▲520
		小計	18,254	20,233	1,978		長期借入金	1,211	2,996	1,785
	固定資産	有形固定資産	14,679	16,166	[1] 1,487	固定負債	退職給付に係る負債	141	159	18
		無形固定資産	904	974	69		その他	628	920	[3] 291
		投資その他の資産	931	1,094	[2] 163		小計	1,980	4,076	2,095
		小計	16,515	18,236	1,721		資本金	2,142	2,142	—
		資産の部計	34,769	38,469	3,699		資本剰余金	2,167	2,167	—
							利益剰余金他	21,822	22,494	671
							評価・換算差額等	2,298	3,751	[4] 1,452
					小計	28,431	30,556	2,124		
					負債・純資産の部計	34,769	38,469	3,699		

< 増減額の主な内訳 >

[1] 有形固定資産		
建物及び構築物	+1,500	
機械装置及び運搬具	▲31	
土地	▲53	
建設仮勘定	+31	
[2] 投資その他資産		
投資有価証券	+ 83	
[3] 固定負債その他		
リース債務	▲12	
繰延税金負債	+63	
資産除去債務	+242	
[4] 評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	+1,392	
その他有価証券評価差額金	+48	

③ 決算概要ーキャッシュ・フロー、設備投資等

単位：百万円

	24年3月期 実績	25年3月期 実績
営業活動による キャッシュ・フロー	1,430	2,638
投資活動による キャッシュ・フロー	▲2,456	▲1,750
財務活動による キャッシュ・フロー	▲548	1,411
現金及び現金同等物 期末残高	5,542	8,061

単位：百万円

	23年3月期		24年3月期		25年3月期	
	連結	単体	連結	単体	連結	単体
設備投資額	2,916	1,521	2,656	1,448	2,412	307
減価償却費	1,644	1,011	1,711	965	1,812	914
研究開発費	259	259	262	262	271	271

<営業活動によるキャッシュ・フロー 主な内訳>

	24年3月期	25年3月期
税金等調整前当期純利益	1,463	1,652
減価償却費	1,711	1,812
為替差損益	▲212	76
固定資産売却損益	▲1	▲957

<投資活動によるキャッシュ・フロー 主な内訳>

	24年3月期	25年3月期
有形固定資産取得支出	▲2,455	▲2,718
有形固定資産売却収入	1	999

<財務活動によるキャッシュ・フロー 主な内訳>

	24年3月期	25年3月期
長期借入収入	—	2,000
長期借入金返済支出	▲98	▲204

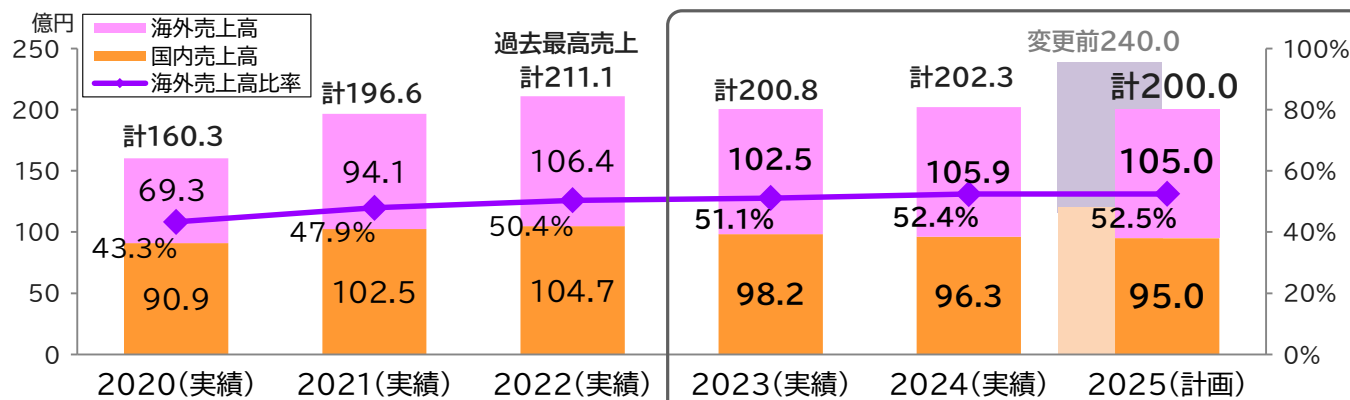
④ 中期経営計画(2023～25年度)

4 中期経営計画－目標

年 度	2023～2025年度			
中期 ビジョン	スピード経営体質への脱皮と モノづくりを支える「エッセンシャルカンパニー」としての 自覚と責任と挑戦			
目 標	最終年度 (2025年度)	● 売上高 ● 営業利益 ● 売上高営業利益率 ● ROE	240億円 24億円 10.0% 5.5%以上	2025年5月9日変更 → 200億円 → 10億円 → 5.0% → 2.3%以上

4 中期経営計画－目標

売上高



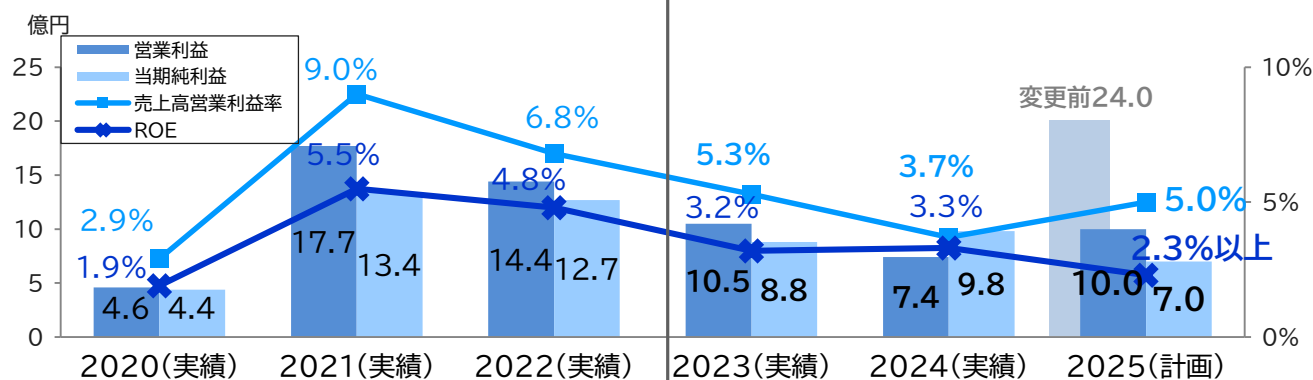
2025年度売上高 目標変更の主な理由

- ・為替レートの見直し
- ・国内の住宅関連刃物、自動車関連刃物の需要減少
- ・世界経済の減速、自動車関連刃物需要減少、油井管市場での競争激化

[為替]海外子会社換算適用レート

	変更前	変更後
1ドル	150.00円	140.00円
1ユーロ	160.00円	155.00円

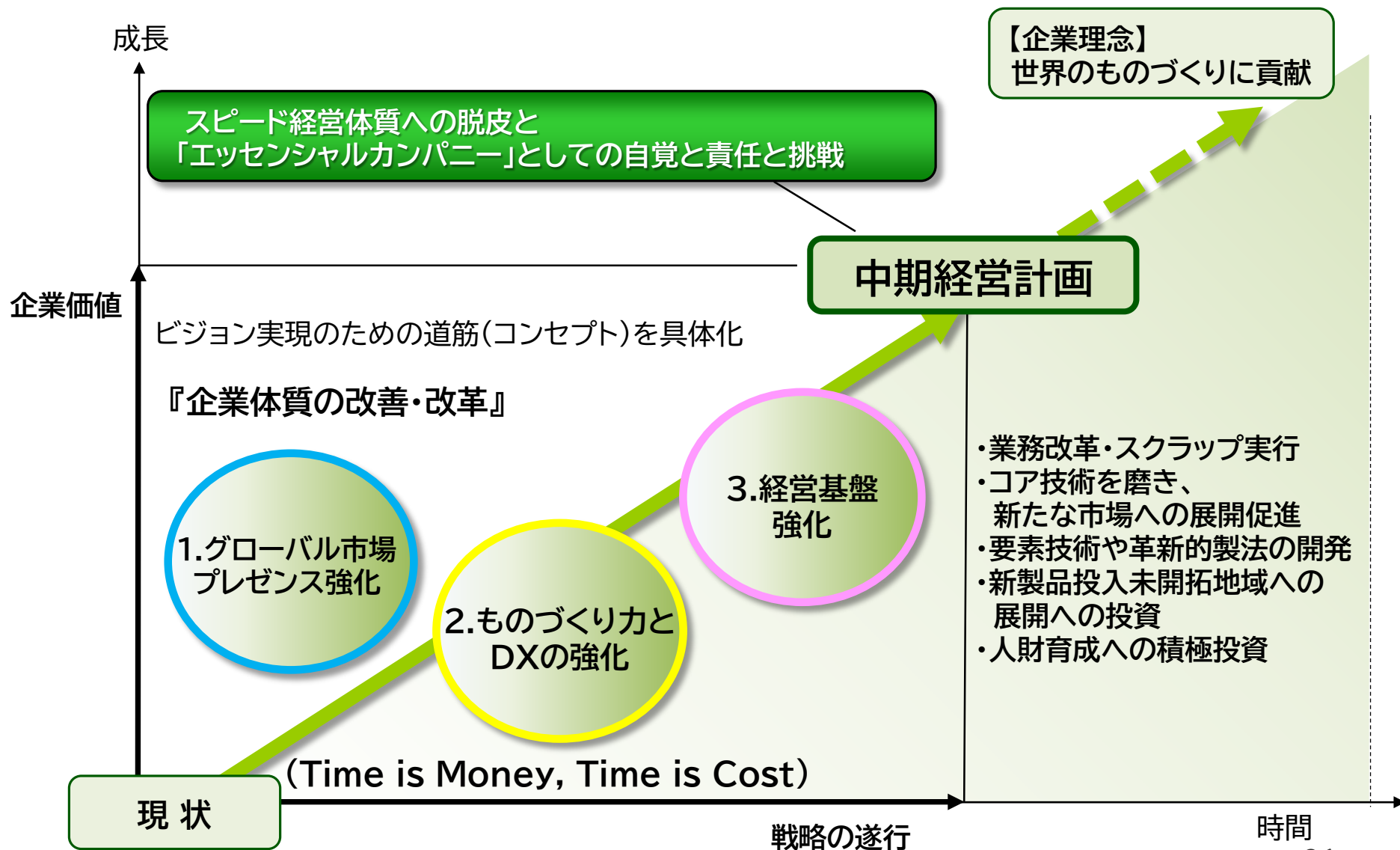
営業利益 当期純利益 売上高営業利益率 ROE



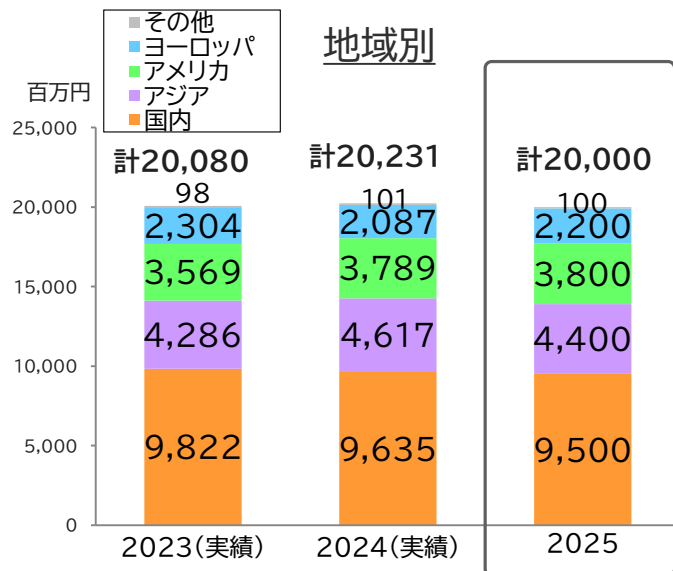
2025年度営業利益 目標変更の主な理由

- ・売上高計画の下方修正、操業度の低下
(設備投資計画や人員計画の見直しで固定費は圧縮)

4 中期経営計画－重点戦略



④ 中期経営計画－売上高内訳



国内

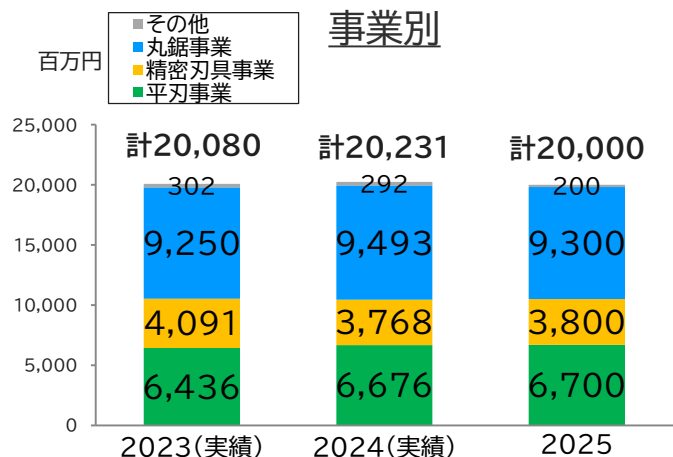


非住宅市場拡大に注力
EV市場や環境関連市場での取
り組み強化

アメリカ



木材加工用刃物の販売拡大
油井管・自動車関連市場の
占有維持・拡大



アジア



木工関連、紙工関連市場にお
けるさらなる占有拡大、拡販
鉄工・自動車関連市場の
新規顧客開拓等取り組み強化

ヨーロッパ



金属加工用刃物について
品質志向のユーザー開拓
木材加工用刃物に注力し、
CLT市場に本格参入

[為替]海外子会社換算適用レート

	2023年度	2024年度	2025年度想定
1ドル	141.83円	158.18円	140.00円
1ユーロ	157.12円	164.92円	155.00円
1元	19.93円	21.67円	19.00円

4 中期経営計画－設備投資計画

中期経営計画(2023～25)投資総額

変更前105億円→80.0億円 (2025年5月9日変更)

国内 26.0億円

海外 54.0億円

2023(実績)
14.4
億円

2024
(実績)
3.0
億円

2025
8.4
億円

2023(実績)
12.1
億円

2024(実績)
21.0
億円

2025
20.9
億円

投資総額下方修正 主な要因

国内

・広島営業所の移転延期
(324百万円)

海外

・ベトナム工場 ロボット活用の
省人化ライン立ち上げ延期
(1,013百万円)

2023年度 本社物流センター建設費

- ・建屋建設費 6.2億円
- ・什器備品、システム等 0.8億円



物流センター

2023～25年度

ベトナム工場増産体制のための設備投資

- ・設備 27.5億円
- ・工場建屋、空調設備等 15.5億円

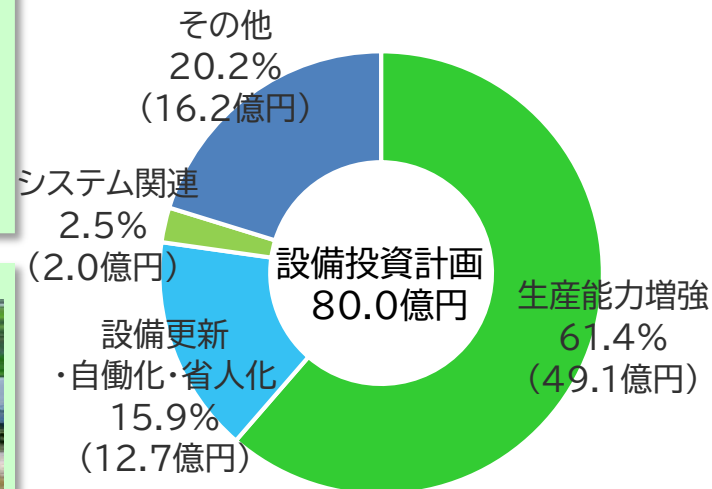
総敷地面積 53,250㎡

工場建屋面積

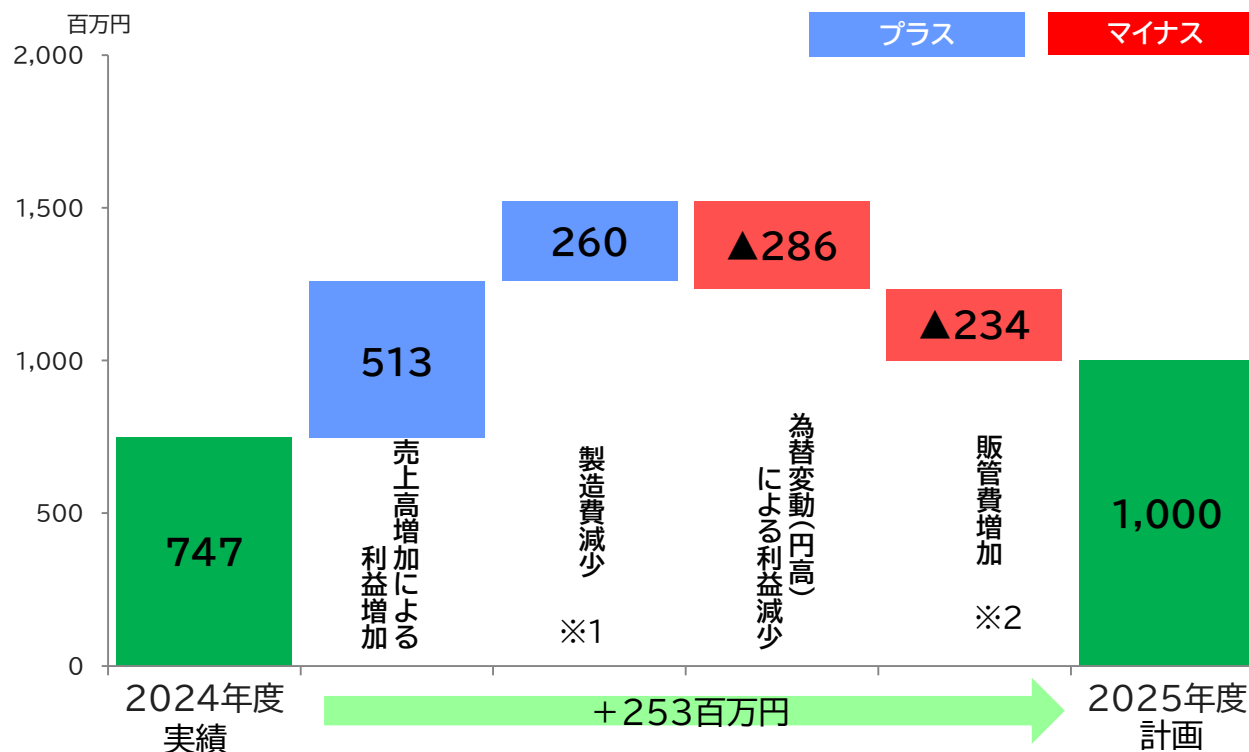
- ・第1・2期工事(完了) 10,778㎡
- ・第3・4期工事(完了) 16,144㎡



ベトナム工場



4 中期経営計画－営業利益計画の増減要因(2024実績→25計画比)



[為替影響]
海外子会社換算適用レート

25年3月期	26年3月期
158.18円/\$	⇒ 140.0円/\$ (円安)
164.92円/€	⇒ 155.0円/€ (円安)
21.67円/元	⇒ 19.0円/元 (円安)

※1 製造費減少 主な内容

国内 変動費コストダウン ▲71百万円 機械減価償却費 ▲64百万円

海外 2024年中国子会社構造改革費用(生産人員削減、分公司閉鎖)による利益減少影響の剥落 ▲130百万円

※2 販管費増加 主な内容

国内 運送費 +30百万円 手数料 +44百万円

海外 ヨーロッパ展示会費用 +11百万円

④ 中期経営計画ーサステナビリティ(パーパス、SDGsドミノ)

**Sharpen the future,
Share the value**
未来を研ぎ澄まし、喜びの輪を広げる



- 兼房に関わる全ての人へ新しい価値をもたらし、世界の人々を笑顔にする
- 兼房の刃物で世界のモノづくりにイノベーションを起こし、世界中の人々の未来を輝かせる。そして、そこから生まれる価値を世界中に共有する
- 「切る」「削る」を極め、環境に優しいモノづくりの技術・ノウハウを提供する。
- 従業員、お客様、さらにその先のお客様に驚きと喜びと安心を提供する。

兼房SDGsドミノ ～兼房の強みから正の連鎖反応を起こし、社会と企業の持続可能性の両立を目指す～



わが社にしかできない切削技術で
新しい価値を創造し、
世界のものづくりに貢献する



資源の有効活用、
廃棄物削減・再利用



地球環境に配慮した
刃物の開発、
切削方法の提案



生産性向上、
ワーク・ライフ・バランス

4 中期経営計画－サステナビリティ(優先的に取り組む課題)

9 産業と技術革新の基盤をつくろう
 わが社にしかできない切削技術で新しい価値を創造し、世界のものづくりに貢献する



12 つくる責任
 資源の有効活用、
 廃棄物削減・再利用



13 気候変動に
 具体的な対策を
 地球環境に配慮した
 刃物の開発、
 切削方法の提案



8 働きがいも
 経済成長も
 生産性向上、
 ワーク・ライフ・バランス



17 パートナシップで
 目標を達成しよう
 パートナーと協力し、
 SDGsへの取り組み促進

目指すべき成果

・「六方よし」の刃物・切削の提供
 (買い手・売り手・作り手・地球環境・社会・未来)
 ・新分野への取り組みの促進
 ・最適提案までの期間短縮

・サプライチェーン全体での
 省資源化

・サプライチェーン全体における
 カーボンニュートラルへの貢献
 ・エコ資材使用率の最大化

・限りある人財で最大利益を生む
 ・多様な働き方への柔軟な対応

・パートナーとの連携により、
 当社のSDGsの取り組みを
 促進する。

主なアクションプラン、目標

・環境配慮技術(薄鋸化等)を使ったビジネス
 加速
 ・EV、リサイクル産業、バイオマス市場等への
 取り組み

・脱プラ化、環境配慮包装材採用
 ・3R推進

・木材資源活用の高まりへの対応
 ・環境配慮型新製品 年間1件以上発売

・温室効果ガス排出量削減
 (生産設備20%減、熱処理設備20%減、
 GHG フリーエネルギーを本社20%以上導入)

・自動化・省人化・デジタル化推進
 (例:製品検査AI化により全社検査人員30%減)

・倉庫管理システムの最適構築
 ・会計システム、生産管理システムグループ統一
 ・職能資格制度見直し

・大学、関係企業との共同研究による技術進化
 ・カーボンフットプリント対応
 ・環境活動の2030年長期数値・プロセス目標
 設定、モニタリング

4 中期経営計画－サステナビリティ(優先的に取り組む課題)



環境配慮型製品－CLT加工用刃物

CLT加工用刃物 ラインナップ拡大

～カーボンニュートラルの観点から注目される木材利用に対して強みを持つ～

用途: マンションや商業施設等の壁材や床材として注目が集まる
CLT(直交集成材)の加工

特徴: 当社独自のコーティング技術により切れ味向上

→長寿命化と切削時の消費電力削減で環境負荷低減

ヨーロッパの機械メーカーを中心に高い評価を受けています。



温室効果ガス排出量削減

GHG排出量(scope1・2)削減目標 2030年度 2021年度比35%削減

進捗状況

	2021年度実績	2023年度実績	削減率
自社の活動によるGHG排出	21,441	20,541	△4.1%
scope1(直接排出)	1,448	1,348	△6.9%
scope2(間接排出)	19,993	19,193	△4.0%

実績単位(t-CO₂)

※2024年度のGHG排出量実績は現在算定中です。

CO₂フリー電気(水力発電、太陽光発電等の再生可能エネルギー)本社使用比率 目標 20%以上

進捗状況 2023年度実績 21.3% 2024年度実績 30.0%

4 中期経営計画－サステナビリティ(優先的に取り組む課題)



倉庫管理システムの最適構築

物流センター2024年1月稼働。
無人搬送システム、倉庫管理システム活用による工数削減、管理強化。



自動化・省人化・デジタル化推進

購買管理システム導入。2025年7月より本格運用開始予定。



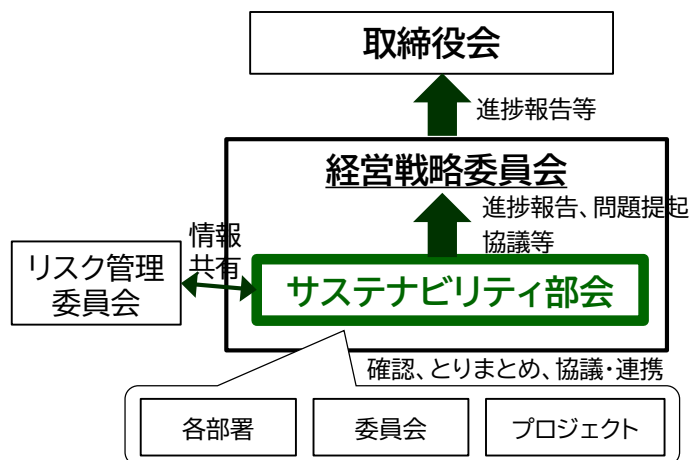
資材発注～検収処理業務

サプライヤーを含め、業務効率向上、郵送費削減、紙資源使用量削減

4 中期経営計画－サステナビリティ(優先的に取り組む課題)



サステナビリティ推進体制強化



サステナビリティへの取り組みに関する進捗管理、方向性協議等の全社統制を行う「サステナビリティ部会」を2025年4月に設置し、取り組み体制強化。



CDP2024年 気候変動スコアリング B- 取得

CDP2024年 気候変動スコアリングで8段階中、上位から4番目の「B-」を取得。
「B-」は、「自社の環境リスクやその影響を認識し、行動している」マネジメントレベルとされています。



CDPとは・・・イギリスで設立された国際環境NGO。

活動目的は「人々と地球にとって、健全で豊かな経済を保つ」ことであり、投資家や企業等に働きかけ、環境に与える影響に関する情報開示を促している。CDP質問書への回答は、投資家や取引先への情報開示として、重要性が高まっています。

⑤ トピックス

⑤ トピックスー大阪・関西万博 大屋根リング建設への貢献

大阪・関西万博のシンボルである大屋根リング建設に当社製品が貢献しました。



柱と梁の接合のための
【くり抜き加工】
替刃式エンドミル



木材同士をつなぎ合わせるための
【フィンガー加工】
ロングフィンガーカッター



木材に金具を通すための
【穴あけ加工】

プレカット鉋



木材の表面を平滑にするための
【平削り加工】

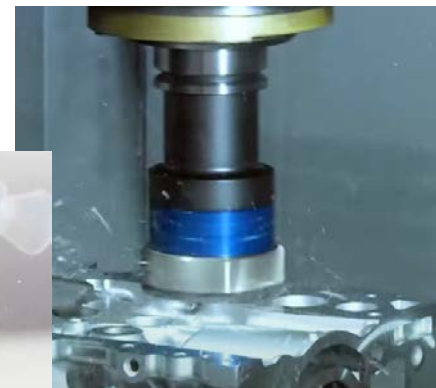
かな胴



大阪・関西万博
大屋根リング

5 トピックスー会社紹介動画リニューアル

兼房の特徴や技術について、わかりやすくご理解いただける動画をリニューアルし、YouTube公式チャンネルにアップしております。よろしければご覧ください。



QRコードよりご覧いただけます。

※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



KANEFUSA CORPORATION

ご清聴ありがとうございました。

当資料には、将来に関する記述があります。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づく予測、計画等を基礎として作成しており、不確定要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの記述と異なる結果となる可能性があります。